

令和7年度 糖尿病歯周病医科歯科連携推進事業 実施要項

1. 目的

本事業は、糖尿病と歯周病の医科歯科連携を推進し、両疾患の早期発見と適切な治療を通じて、奈良県民の糖尿病重症化予防と歯科口腔保健の向上を図ることを目的とします。

2. 背景

糖尿病患者は歯周病が悪化しやすく、歯周病治療により血糖コントロールが改善するなど、両疾患の相互関係が多くの研究で示されています。

奈良県では令和2年度より本事業を開始し、医科、歯科双方向に医科歯科連携の重要性を啓発してきました。令和6年度には「糖尿病歯周病医科歯科連携診療情報提供書」を作成・活用し、アンケートを通じて課題を抽出しました。

令和7年度は、改善した提供書を用いてモデル地区での実践的な連携体制を構築・評価し、未診断患者の早期発見と医科歯科間の情報共有を強化するトライアル事業を実施します。

3. 事業概要

(1) 対象者

- 糖尿病で医科に通院中の患者
- 歯周病で歯科に通院中の患者

(2) モデル地区

奈良市全域

(3) モデル医療機関数

- 病院 糖尿病内科：2施設
- 糖尿病クリニック：3施設
- 歯科医院：10施設

(4) 実施期間

令和7年12月20日～令和8年2月10日

(患者対象抽出実施期間：令和7年12月20日～令和8年1月20日)

受診結果など令和8年2月10日時点のデータを入力して提出してください。

4. 実施方法

1. 患者に対するチェックシートの記載
2. 問診およびチェックシートから、フローチャートに基づき対応を決定する
(糖尿病 or 歯周病治療紹介、病状照会、継続治療)
3. 患者に対して糖尿病と歯周病の関係を説明し、同意を取得する
4. 同意が得られた場合、改善した「糖尿病歯周病連携診療情報提供書」に必要事項を記載し、医科・歯科間で患者紹介、情報共有を実施する

5. 評価方法

- アンケート調査による回答（患者・モデル医科医療機関・モデル歯科医療機関・診療情報提供書受領医療機関）
- 対象患者の詳細（対応方針、診療情報提供書記載、紹介先医療機関受診数、返信数、歯周病リスクチェック数、FINDRISK 点数、診断結果）

6. その他

- 来年度は本年度の事業結果をもとに、適切な医科歯科連携の方法を模索し、対象地区を変更、拡大して実施を検討する